

### 障がいのある人の外出に付き添う ガイドボランティア募集

学校への通学や施設への通所など、障がいのある人の外出に付き添うボランティアさんを募集しています。活動は、ご自身のペースで！興味のある方はお問合せ下さい。

❖移動情報センターが活動をサポートしていきますのでご安心ください。



### 令和3年度 ボランティア入門講座

ボランティアしてみたい！地域に貢献したい！どんな活動があるの？どうやって始めるの？と、思っている方、ぜひご参加ください。

ボランティアのイロハや情報をお伝えします。

■日 時：10時～11時30分

|          |           |               |
|----------|-----------|---------------|
| ①4/21(水) | ⑤9/15(水)  | ⑨2022.1/19(水) |
| ②5/19(水) | ⑥10/20(水) | ⑩2022.2/16(水) |
| ③6/16(水) | ⑦11/17(水) | ⑪2022.3/16(水) |
| ④7/28(水) | ⑧12/15(水) |               |

■会 場：泉ふれあいホーム  
いずみ中央相鉄ライフM3階

■定 員：各回とも、先着5名

■対 象：ボランティア活動に興味のある方

■参加費：無料

■申込方法：電話にてお申込み

※新型コロナウイルス感染状況により日程変更等の可能性があります。



### 傾聴ボランティア・モモ／ボランティア養成講座

傾聴とは、否定や忠告などをしないで、相手が今どのような気持ちなのかを、心に寄り添って聴くことです。ボランティア活動だけではなく、家族や友達とのコミュニケーションにも役立ちます。本講座では、傾聴の必要性・技法等を勉強します。

私たちは高齢者施設等を訪問して利用者の話を聴き心に寄り添う活動をしています。共に活動する仲間を求めています。

■日 程：5/14(金)、21(金)、28(金)  
午前10時～12時

■会 場：泉ふれあいホーム  
(いずみ中央相鉄ライフ M3階)

■受講条件：・全日程(3回)に出席可能な方  
・受講後モモに所属し傾聴ボランティア活動ができる方  
・月例会に参加できる方  
(原則第1(金)午前/中川地区センター)

■受講料：1,000円(保険料・資料代含む)

■定 員：10名

■申込方法：【往復はがき】に、①講座名②氏名・年齢③住所④電話番号⑤受講の動機を記載の上、お申込み下さい。

■受付期間：～4/9(消印有効)

■申込先：〒245-0023 泉区和泉中央南5-4-13

泉ふれあいホーム気付 傾聴ボランティア・モモ宛

❖主催：傾聴ボランティア・モモ/共催：泉区ボランティアセンター  
※新型コロナウイルス感染状況により日程変更等の可能性があります。



### 泉区災害ボランティア連絡会 会員募集

わたしたちは、災害に備えるために助け合いの関係づくりに取り組んでいます。

平常時は、情報交換会や防災訓練や研修の開催など、災害時は、災害ボランティアセンターを立ち上げ、ボランティアコーディネートなどを行います。

詳しくは、泉区社協(☎802-2150)までお問い合わせください。または、下記URLよりホームページにアクセスできます。

http://disas.shakyo-iy.or.jp/

QRコードからも  
アクセスできます！



### 編集後記

前74号では、コロナ禍の中での、各地区の地域の福祉活動について紹介をしました。コロナの状況は、その頃と変わらず、というより更に悪化しているようです。今号では、そんな中で、少しでも、生活に支障が生じないようにとの、福祉施設や企業の取り組みを紹介しています。

又、移動スーパーについては、コロナに関わらず、地域住民からの要望が強いもので、特に高齢者にとっては有難いものとなっております。(林 純弘)

「区社協だより泉75号」をご覧くださいありがとうございます。  
ご感想やご質問等がございましたら、お気軽にご意見をお寄せください。

発行責任者：社会福祉法人 横浜市泉区社会福祉協議会 〒245-0023 横浜市泉区和泉中央南5-4-13 泉ふれあいホーム内  
TEL 045(802)2150 FAX 045(804)6042 メールアドレス: normalize@shakyo-iy.or.jp HP http://www.shakyo-iy.or.jp/

### 広報編集委員の紹介

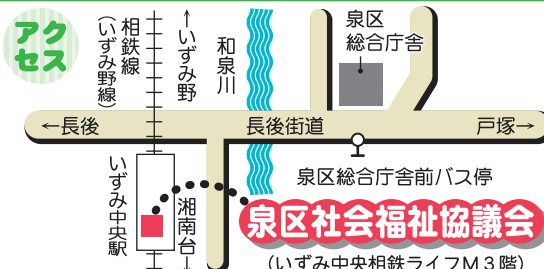
平成31年4月1日～令和3年3月31日

竹山 幸成  
(緑園地区民生委員児童委員協議会)  
深山 武志  
(いちょう団地地区社会福祉協議会)  
宮田 貞夫  
(中田地区社会福祉協議会)  
林 純弘  
(しらゆり地区社会福祉協議会)  
高橋 律子  
(音声訳ボランティアいずみ)

鈴木 和代  
(泉区災害ボランティア連絡会)  
佐藤 まゆみ  
(泉区障害福祉自立支援協議会 交流の輪)  
岡 裕子  
(岡津地域ケアプラザ)

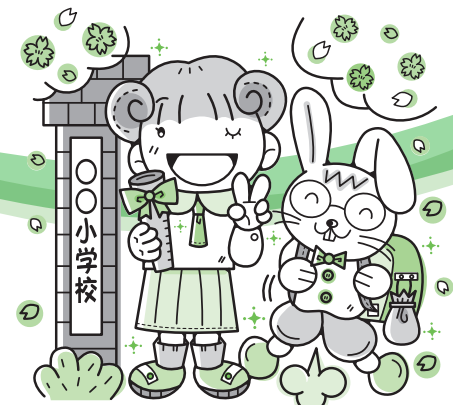


### アクセス



# 泉 No.75

## 続・コロナに負けるな！ ～今できるこんな取り組み、あんな工夫～



「区社協だより泉」では前回74号から新型コロナウイルスの感染拡大に伴う地域活動への影響を受け、様々な工夫を取り入れながら継続・再開している取り組みを紹介しています。今号では、施設や企業が取り組む活動について紹介します。

### 白寿荘

## 交流を絶やさず地域の力になります

高齢者を対象にした施設では、新型コロナ感染症予防のため外部との交流が減っています。

地域のイベントも中止が相次ぐ中、老人ホーム白寿荘では、11月にいずみ野地域ケアプラザ主催の「ミニミニ健康スタンプラリー」に協力しました。施設への入館はできないため、エントランスで感染症対策(検温・手指消毒・マスク着用等)を講じながら受付を行い、入所者が編んだアクリルスポンジを参加者にプレゼント。また、中庭の芝生を無料のコーヒーやおもちゃの金魚すくい、みかん狩りのコーナーとして開放。当日は晴天に恵まれ、子どもたちもおとなにサポートしてもらいながらみかん狩りを楽しんでいました。参加者は近所を散策しながら、地域の隠れた魅力を発見し健康を意識した一日になったようです。その他にも、歩行が不安定な高齢者の地域サロンへの送迎支援や、地域の子育てサロンにサンタクロースとして職員が登場するなどの協力を行っています。施設と住民との距離が近づくことで笑顔の人がどんどん増えています。



特別養護老人ホーム 白寿荘  
工藤 達也 施設長

特別養護老人ホーム  
白寿荘では「共生」を  
テーマとして地域密着  
で交流を深めています。  
感染症禍の中でも  
「出来ない」と決めつ  
けるのではなく「どの  
様にしたら出来るか」  
を実践します。



敷地内で育ったみかんの樹(写真奥)